

編 集 後 記

1986年に創刊された小児循環器学会雑誌（和文誌）は、早くも創刊40年を迎えました。1988年（刊行3年目）以降に掲載された論文は、学会のWebサイト上で閲覧可能となっており、当時としては最先端の知見を含む数多くの原著論文を今も参照することができます。今日をとおしても、新たな発見を求めて探求を進める姿勢に、心打たれるものがあります。この40年の間に、小児循環器分野の論文が投稿可能な英文学術誌の数は飛躍的に増加し、諸所の事情で原著論文の発表の場として英語誌が選ばれることが多くなった影響もあり、当誌においては次第に症例報告の投稿数の割合が増えてまいりました。さらに近年では、小児循環器学の分野がますます専門的に細分化され、学ぶべき知識は広範かつ多岐にわたるようになりました。これに対応する形で、学会員へ広い範囲の情報を整理し、教育および情報提供を行うことを目的とした総説のシリーズも充実を図ってまいりました。しかしながら、学術雑誌の原点は、新たな発見や知見を公に発表し、その蓄積を通じて当該分野の発展に貢献することにあります。当誌としましても、今後はあらためて日本語による原著論文の投稿環境を整備し、分野を問わず広く論文を受け入れていく所存です。引き続き、会員の皆様からのご支援と積極的なご投稿を心よりお願い申し上げます。

（高橋 健）